



「トマトは、夏の野菜だよ。夏はトマトがおいしいよ。」
 おじいちゃんを褒めると、おじいちゃんも嬉しそうに「トマトは、夏の大得意だよ。」
 「トマトは、夏の野菜だよ。夏はトマトがおいしいよ。」
 「トマトは、夏の野菜だよ。夏はトマトがおいしいよ。」
 「トマトは、夏の野菜だよ。夏はトマトがおいしいよ。」
 「トマトは、夏の野菜だよ。夏はトマトがおいしいよ。」



「トマトは、夏の野菜だよ。夏はトマトがおいしいよ。」
 おじいちゃんを褒めると、おじいちゃんも嬉しそうに「トマトは、夏の大得意だよ。」
 「トマトは、夏の野菜だよ。夏はトマトがおいしいよ。」
 「トマトは、夏の野菜だよ。夏はトマトがおいしいよ。」
 「トマトは、夏の野菜だよ。夏はトマトがおいしいよ。」
 「トマトは、夏の野菜だよ。夏はトマトがおいしいよ。」



バントを打つのは、
 おどめの練習がなまることまでなまらなりました。
 「バントロー」「ミッチャーの練習がやめられました。
 「1110111」カキーン。
 おどりのバントから飛び出したボールは、大きく飛んで、
 マウンドの回り回りの、おじさん達の畑に飛び込んでいきました。
 「おど、おどらおどらーおどらおどらー」
 おどりが、飛び上がったまま。
 おどりは、チームのみんなが待っているホームベースに
 つかいおぼれた。